

日本共産党 道議会議員

# 真下 紀子

困難のりこえ、ともに生きる はつらつ道政レポートNO.391  
2025年 新年号 発行 真下紀子事務所



## 2025年くらしと地域経済支える道政へ

物価・燃油高騰等の影響で暮らしも経営も厳しさが増す中、12月25日、日本共産党道議団は、鈴木直道知事に物価高騰対策予算を求める要望書を提出し、早急な実施を求めました。

真下紀子道議は9月議会で福祉灯油の基準額と支給対象者の拡充を求め、道は全市町村での実施を働きかけると答弁。12日、旭川市は実施の見通しと表明しました。



### 道議会提案

#### カスハラ防止条例制定

道議会は、2024年第4回定例会に議員提案では初となる「カスタマーハラスメント防止対策条例」を全会一致で可決。真下道議は検討会議メンバーとして提案を重ね条例案に反映させ、指針の実効性もチェックしていきます。



### 地方路線利用、維持存続に尽力

「JR単独で維持困難線区」の発表後、地方路線問題調査特別委員会を設置した道議会は、結束して鉄路の維持・存続、国の支援を求めてきました。今後は「新幹線・総合交通体系調査特別委」に調査を移します。



6回にわたるJR北海道社長の参考人招致はじめ、真下議員の質問は47回に。地方路線の維持存続、北海道新幹線の赤字約100億円の縮小求める、特急ライラックに「車いす優先スペース」設置、深川駅エレベーター設置、高校生の部活帰り減便に留萌線代替バスを確保、富良野線西神楽駅の清掃実施等を実現。これからも地域で暮らせる医食住と交通確保に尽力していきます。



## 2024年トピックス

- ◇ 「妊産婦安心出産支援事業」を拡充！
- ◇ 子どもの貧困対策、子どもの権利表明の支援を
- ◇ 高すぎる国保料の引き下げを
- ◇ 重度障害者のグループホーム入居
- ◇ がん治療、アピアランスケアに助成を
- ◇ ジェンダー平等へ  
同性婚・パートナーシップ条例制定提案
- ◇ 山岳遭難・バックカントリー遭難対策強化へ
- ◇ ヒグマ対策とハンターの処遇改善すすむ
- ◇ 北方領土資料館充実を ◇ アイヌの生活向上を
- ◇ 鈴木知事の後援会パーティー券定員の3倍！
- ◇ 指定管理に報道機関、忖度・報道抑制ないように
- ◇ 観光機構の契約実態追求し、文書規定検討へ
- ◇ ハラスメント対策
- ◇ 公益通報制度の活用・パワハラ相談体制強化へ
- ◇ 旭川のいじめ対応に問題、道警に改善求める
- ◇ 道警の不祥事 未成年者との飲酒・不倫、ハラスメントの実態明らかにして、不祥事根絶求める
- ◇ 世界自然遺産知床携帯基地局の工事中止へ
- ◇ 災害時避難所、原子力防災の課題
- ◇ 核ごみ文献調査報告に火山の専門家意見反映を

# 地域と暮らし支える提案 & 道政チェック

## ◆ 保険証 有効期限まで使えます その後は資格確認書 ◆

新規発行されなくなった国保・後期高齢保険証は有効期限まで使えます。保険証利用者には申請しなくても保険証と同じに使える資格確認書が届きます。一方でマイナ保険証利用者への「資格情報のお知らせ」は保険証と

して使えません。資格確認書の取得には、紐づけ解除や有効期限の確認も必要です。思わぬ失効やトラブルで受診できないと命にかかわる保険証、発行が必要です。知事は今後の状況と影響を把握し対応すると答えました。



## 国保統一で保険料上昇 国保料引き下げを

道が全道統一をめざす国民健康保険料、2024年度に105市町村が引き上げました。真下道議は「保険料を決定する市町村と道の標準保険料が違ってペナルティはない」ことを確認。「国の財政支出を増やし、保険料を引き下げることが必要」と強調しました。また、知事は、減額免除制度について、「いっそうの周知にとりくむ」と答えました。



## 重度障害の子どもたち 居場所・歯科診療充実へ

重度の障害がある子どもたちが卒業後、グループホームに空きがあっても入居できない問題を質問。

国への要請後、卒業後の実態調査を実施すると表明。また、歯科診療を受け難いの声に、道が行っている障がいのある方の歯科診療事業の普及と活用を求めました。

## 禍根残した宿泊税導入 使途は今も不明確

鈴木知事は、定率制を先行導入していた倶知安町と協議が整わないまま、段階的定額制(1泊100円～500円)の宿泊税条例案を第4回定例会に提案しました。調整不足との批判を受け、閉会直前の予算特別委員会で、道に道税相当分を納付すれば定率制を認めると表明しましたが、知事提案の条例案では変更に対応できません。

道が一度条例案を撤回し修正して再提出すべきでした。ところが道と同時期に導入予定の市町村の日程に影響が出るため、全会派が議論できる十分な審議時間もない中、修正を議会に委ねました。

閉会日前日の総務委員会に自民・公明会派が修正案を提出、賛成多数で可決となりました。

真下議員は本会議で56年ぶりとなる総務委員長報告

に質疑に立ち、知事の強硬姿勢は禍根を残したと指摘しました。

道が45億円を見込む宿泊税は、東京都約17億円、大阪府約12億円に比べて大規模ですが、今も使途が明確ではありません。事業を担う可能性がある観光機構の事業執行にも問題があります。

道と機構が行う負担金事業・共同事業の根拠はわずか3ページの協定書のみです。事業と予算の情報をもつ道職員と機構が、道の予算審編前に事前協議していることは、法の根拠もなく、道議団の調査で道庁にも全国にも例がないことがわかりました。真下議員は「記録不存もあり極めて緩い」と指摘し、改善を強く求めました。



## 道議会質問トップ 真下議員！

北海道新聞(8/18)は2023年改選後1年間の道議会議員の質問回数を調査。質問ゼロの議員が10人いる一方、第1位は真下議員と報じました。「選挙で選ばれたからには困っている人の少数意見を一つでも多くとりあげることが心にかけている」とコメントも紹介されました。

## チェック！ 知事パー券 会場の3倍・利益率9割超

鈴木知事の後援会が主催した政治資金パーティーの参加者数が政治資金報告に虚偽記載されていたと指摘。知事は修正を余儀なくされました。また、販売枚数が会場定員の3倍を超え、利益率は9割超。道の受注企業にも販売され、禁止されている実質的な企業団体献金といえます。知事の政治資金の不透明さを指摘し、改革姿勢を求めました。

道議会・道政へのご意見・ご要望をお寄せください

真下紀子事務所 旭川市3条16丁目左7号 TEL 0166-20-0808 FAX 0166-20-1616 m.noriko.office@gmail.com

